

# 資料編

- 資料 1 「電池の仕分けと袋詰め」課題の実施方法
- 資料 2 行動観察記録票
- 資料 3 - 1 行動観察記録票・記入例（訓練生 A）
- 資料 3 - 2 行動観察記録票・記入例（訓練生 B）
- 資料 4 障害者職業能力開発校における導入訓練を伴う普通課程の普通職業訓練の実施について（通達）



## 「電池の仕分けと袋詰め」課題の実施方法

本編で説明した「電池の仕分けと袋詰め」課題を利用した行動観察の方法について紹介します。

### 1 目的

訓練生の「困っていることや作業のやりにくさ」を解決するために作業を通して職員が訓練生の「気になる行動や動作」を観察し、「背景にある要因」を推測し、その対応法を検討する力を身に付ける。

### 2 使用教材

訓練生 1 名当たりの作業に必要な教材は次のとおりです。

No	品名	仕様	数量
1	乾電池	単 2 ～ 5	各 4 セット※
2	ボタン電池	ボタン電池大、ボタン電池小	各 8 個
3	ビニール袋	大、中、小	各 5 枚
4	ストップウォッチ		1 台
5	ビニール袋選択のルール		1 枚※※
6	付せん	大きめのもの	1 個

※単 2 ～ 単 5 電池は、2 本を 1 セットとして数えます。

※※本資料の最終ページに添付しています。

### 3 作業前の準備

#### (1) 教材の配置

机の上に次のように電池、ビニール袋、ストップウォッチ、「ビニール袋選択のルール」の用紙及び付せんと配置します。



#### (2) 行動観察の記録用紙の配布

行動観察の記録用紙として、資料 2 の「行動観察記録票」を観察する職員の人数分準備し、各職員に配布します。

#### 4 作業の進め方

##### (1) 電池の仕分けと袋詰め作業についての説明

職員から訓練生に、次のように作業の進め方を説明します。

###### 【説明内容】

- ・今から電池の仕分けと袋詰め作業の進め方を説明します。
- ・袋詰めする電池の種類とセット数または個数を口頭で指示しますので、指示された電池を集めてください。
- ・次に別紙の「ビニール袋選択のルール」に従ってビニール袋を選択し詰めます。このときに袋の口のチャックは開いたままにしてください。
- ・袋詰めが終了したら「終了しました。」と報告してください。
- ・4回続けて作業を指示しますので、袋は机の上に左から順番に置いてください。
- ・この4回分の作業時間をストップウォッチで計測してください。
- ・例えば、「1回目 単3電池を1セット取り出し袋に詰めて、終わったら報告してください。」と言いますので、ストップウォッチのスタートボタンを押して、時間計測を開始してください。
- ・指示された単3電池を1セット取り出します。
- ・次に「ビニール袋選択のルール」の『電池の種別』の欄を見ると、この場合は『単3～5のみの場合』で『合計本数』は『1セット』になりますので、『袋の種類』は『小』となります。」ので、取り出した単3電池1セットを『小』のビニール袋に入れます。このとき袋の口のチャックは開いたままにしてください。
- ・以上の作業が終了したら「終了しました。」と報告してください。
- ・終了の報告を受けたら、次の作業指示をします。
- ・4回の仕分け、袋詰め作業を連続して行ってもらいます。
- ・袋は机の上に左から順番に置いてください。
- ・4回目の作業が終了したら、ストップウォッチのストップボタンを押して、終了の報告と一緒に所要時間を報告してください。
- ・以上が作業の説明になりますが、ご質問はありますか？
- ・作業途中でも質問をしてかまいません。

ビニール袋選択のルール

電池の種別	合計本数（個数）	袋の種類
単3～5のみの場合	1セット	小
	2～3セット	中
	4セット以上	大
ボタン電池のみの場合	2個以下	小
	3～5個	中
	6個以上	大
単3～5、ボタン電池が混合の場合	電池2セット以下	中
	電池3セット以上	大
単2を含む場合		大

## (2) 作業の指示

次の指示書に従って、4回の作業を連続して指示します。

作業 No. 6	袋詰めする電池
1	単3を1セット
2	単4を1セット、単5を1セット
3	単2を1セット、単4を1セット
4	ボタン電池小を2個

作業 No. 7	袋詰めする電池
1	単4を1セット、単5を1セット
2	単2を1セット、ボタン電池大を1個
3	ボタン電池大を1個、ボタン電池小を2個
4	単2を1セット、単5を1セット

作業 No. 8	袋詰めする電池
1	単2を1セット、ボタン電池大を1個
2	単3を1セット、単5を1セット
3	単4を1セット、単5を1セット
4	単3を1セット、ボタン電池大を1個

作業 No. 9	袋詰めする電池
1	単5を2セット
2	ボタン電池大を2個、ボタン電池小を2個
3	単2を1セット、ボタン電池小を2個
4	単3を1セット、単4を1セット

作業 No. 10	袋詰めする電池
1	単3を1セット、ボタン電池小を1個
2	単2を1セット、ボタン電池小を1個
3	単4を1セット、ボタン電池大を1個
4	単4を1セット、単5を1セット、ボタン電池大を1個

### (3) 行動観察

職員は、訓練生の作業の様子を観察し、「気になる行動や動作」を資料2の「行動観察記録票」の『気になる行動や動作』欄に記録します。

### (4) 作業結果の確認

4回の作業が終了したら、職員は訓練生から報告を受けた作業時間を資料2の「行動観察記録票」の『所要時間』欄に記入した後、電池を袋から取り出し作業結果を確認し「行動観察記録票」の『結果』欄に記入して、もとに戻します。

## 5 考察

訓練生の「気になる行動や動作」について職員間で情報を共有し、その「背景にある要因」を考察し、対応法の案を検討します。各職員は次のように行動観察記録票に観察結果を記入することで、効率的に考察を進めることができます。

行動観察結果の記入例として、資料3-1「行動観察記録票・記入例（訓練生A）」、資料3-2「行動観察記録票・記入例（訓練生B）」を添付しています。

行動観察記録票												
作業No	電池	1試行		2試行		3試行		4試行		所要時間	気になる行動や動作	
		結果	袋	結果	袋	結果	袋	結果	袋			
6	②									2'17"	作業の進め方の説明時、「はい」と返事 作業の説明時に、取り扱うものをよく見ている 目線は下向き メモは取っていない 6-2 取り出した電池を手元に置きながら袋詰めをしている 6-3 電池の種類を聞き返し、復唱する 6-4 電池の種類を聞き返し、復唱する ルールをよく見ながら袋詰めをする ミスなし	
	③	大	大	大	大	大	大	大	大			
	④	中	中	中	中	中	中	中	中			
	⑤	小	小	小	小	小	小	小	小			
	大	2	2	2	2	2	2	2	2			
7	②									2'32"	7-1 指示が出たら付箋へ電池の種類と数のメモを取り始める 袋詰めをのぞき込むしぐさ 7-2 指示を受け「はい」と返事 ため息をついてから報告をする 7-3 ルールを見て少し考えている様子 下を向いたため息、首を少し振ってから報告をする 7-4 作業時間を報告した後、うつむきながらため息 動きがゆっくりになる 目を少し回してから報告をする その後ため息をする ミスなし	付箋へ「電池の種類と数」を継続的にメモ
	③	大	大	大	大	大	大	大	大			
	④	中	中	中	中	中	中	中	中			
	⑤	小	小	小	小	小	小	小	小			
	大	2	2	2	2	2	2	2	2			
8	②									2'44"	指示が出たら、すぐにペンを持ち電池の種類と数を付箋に継続的にメモをする 8-1 手で額をこするしぐさ 肘について作業をする 目をこするしぐさ 袋選択ミス 大一中 8-2 眼鏡を外して目をこする 大きなため息、ゆっくり上を向き「あ〜」という 8-3 メモの途中で目を閉じる 身体を軽く揺る動作 作業中、上を向いて目をこする 眼鏡を上によらず 8-4 メモの後しばし間が空く 両肘について作業 上を向いて「あ〜」という感じのため息 ミスあり	
	③	大	大	大	大	大	大	大	大			
	④	中	中	中	中	中	中	中	中			
	⑤	小	小	小	小	小	小	小	小			
	大	2	2	2	2	2	2	2	2			
9	②									3'25"	指示が出たら、すぐにペンを持ち電池の種類と数を付箋に継続的にメモをする 9-1 メモを取りため息をつく ルールを指差し確認 目をしかめため息をつく 眼鏡をずらし目をこする 9-2 メモをじっと見てから作業開始 ルールを指差し確認 頭をかき上げたため息をついてから報告をする 9-3 眼鏡を上げて目をこするしぐさ ため息をつき目をしかめ袋のルールを指差し確認 口が空いている 9-4 眼鏡をはずし両手でこする やっと動いている様子 大きいため息をついた後報告 その後うつむく ミスなし	
	③	大	大	大	大	大	大	大	大			
	④	中	中	中	中	中	中	中	中			
	⑤	小	小	小	小	小	小	小	小			
	大	2	2	2	2	2	2	2	2			
10	②									3'29" 止め忘れ	指示が出たら、すぐにペンを持ち電池の種類と数を付箋に継続的にメモをする 10-1 ふらふらした感じ 首を立てて電池をおく(机にボンと落としている感じ) 集中していない様子 10-2 目をしかめてから作業開始 袋のルールを目をしかめてみる 両肘について袋詰め 袋の選択ミス 大一中 10-3 手を顔に当てる 眼鏡をずらし目を抑えるしぐさ 10-4 電池を取り出し机にボンと落とす感じで置く 下を向いたり上を向いたりため息をしたりする 袋の選択ミス 大一中 作業終了時の報告は声が大きく「終わりました！」と言う「ストップウォッチ」の止め忘れに気づき「すみませんでした」と報告	
	③	大	大	大	大	大	大	大	大			
	④	中	中	中	中	中	中	中	中			
	⑤	小	小	小	小	小	小	小	小			
	大	2	2	2	2	2	2	2	2			

## 6 訓練生との振り返り

作業結果をもとにして、訓練生と振り返りをし、訓練生の作業に関する感想等から、訓練生自身が「困っていることや作業のやりにくさ」を理解しているか、職員が推測した「背景にある要因」どおりであったかを確認し、訓練生の「困っていることや作業のやりにくさ」に対する対応法を一緒に検討していきます。

次の点に留意して振り返りを行うと有効です。

- ・ 事実に基づいて相談する。
- ・ 最初はできている点、良かった点から話を始める。
- ・ 対応法は職員が指導するのではなく、訓練生が自己決定できるように気づきを促す。

### ビニール袋選択のルール

電池の種別	合計本数（個数）	袋の種類
単 3 ～ 5 のみの場合	1 セット	小
	2 ～ 3 セット	中
	4 セット以上	大
ボタン電池のみの場合	2 個以下	小
	3 ～ 5 個	中
	6 個以上	大
単 3 ～ 5、ボタン電池 が混合の場合	電池 2 セット以下	中
	電池 3 セット以上	大
単 2 を含む場合		大

行動観察記録票

作業 No	1試行		2試行		3試行		4試行		所要 時間	気になる行動や動作
	結果	袋	結果	袋	結果	袋	結果	袋		
6	②	-	-	-	1	-	-	-		
	③	1	-	-	-	-	-	-		
	④	-	1	1	1	1	1	1		
	⑤	-	-	-	-	-	-	-		
	大	-	-	-	-	-	-	-		
	小	-	-	-	-	2	-	-		
7	②	-	1	-	-	-	1	-		
	③	-	-	-	-	-	-	-		
	④	1	-	-	-	-	-	-		
	⑤	1	-	-	-	-	-	-		
	大	-	1	1	1	1	1	1		
	小	-	-	2	-	-	-	-		
8	②	1	-	-	-	-	-	-		
	③	-	1	-	-	-	1	-		
	④	-	-	-	-	1	-	-		
	⑤	-	1	1	1	1	1	1		
	大	1	-	-	-	-	-	-		
	小	-	-	-	-	-	-	-		
9	②	-	-	-	1	-	-	-		
	③	-	-	-	-	-	-	-		
	④	-	-	-	-	-	-	-		
	⑤	2	-	-	-	-	-	-		
	大	-	2	2	2	2	2	2		
	小	-	-	-	-	-	-	-		
10	②	-	1	-	-	-	-	-		
	③	1	-	-	-	-	-	-		
	④	-	-	-	-	1	-	-		
	⑤	-	-	-	-	-	-	-		
	大	-	-	-	-	-	-	-		
	小	1	-	1	1	1	1	1		

訓練生 \_\_\_\_\_ 職員 \_\_\_\_\_



行動観察記録票

作業 No	1試行		2試行		3試行		4試行		所要 時間	気になる行動や動作
	結果	袋	結果	袋	結果	袋	結果	袋		
6	②	-	-	-	1	1	-	-	2'7"	作業の進め方の説明時、「はい」と返事 作業の説明時に、取り扱った電池をよく見ている 目線は下向き メモは取っていない 6-2 取り出した電池を手元に置きながら目線を下向きに振りながら袋詰めをしている 6-3 電池の種類を聞き返し、復唱する 6-4 電池の種類を聞き返し、復唱する ルールをよく見てから袋詰めをする ミスなし
	③	1	1	1	1	1	-	-		
	④	-	中	中	大	大	中	小		
	⑤	-	小	小	小	小	小	小		
	大	-	-	-	-	-	2	2		
	小	-	-	-	-	-	-	-		
7	②	-	1	1	-	-	1	1	2'32"	指示が出たら付箋へ電池の種類と数をメモを取り始める 袋詰めのルールをのぞき込むしぐさ 7-2 指示を受け「はい」と返事 ため息をついてから報告をする 7-3 ルールを見て少し考えている様子 下を向いたため息、首を少し振ってから報告をする 7-4 作業時間を報告した後、うつむきながらため息、動きがゆっくりになる 目を少し回してから報告をする その後ため息をする ミスなし
	③	-	-	-	-	-	-	-		
	④	1	中	大	中	中	中	大		
	⑤	1	小	小	小	小	小	小		
	大	-	-	-	-	-	1	1		
	小	-	-	-	-	-	2	2		
8	②	1	1	-	-	-	-	-	2'44"	指示が出たら、すぐにペンを持ち電池の種類と数を付箋に継続的にメモをする 8-1 手で額をこするしぐさ 肘について作業をする 目をこするしぐさ 袋選択ミス 大→中 8-2 眼鏡を外して目をこする 大きなため息、ゆっくり上を向き「あ〜」という 8-3 メモの途中で目を閉じる 身体を軽く揺る動作 作業中、上を向いて目をこする 眼鏡を上によらず 8-4 メモの後はしばし間が空く 両肘について作業 上を向いて「あ〜」という感じのため息 ミスあり
	③	-	1	1	1	1	1	1		
	④	-	大	中	中	中	中	中		
	⑤	1	小	小	小	小	小	小		
	大	-	-	-	-	-	1	1		
	小	-	-	-	-	-	1	1		
9	②	-	-	-	1	1	-	-	3'25"	指示が出たら、すぐにペンを持ち電池の種類と数を付箋に継続的にメモをする 9-1 メモを取りため息をつく ルールを指差し確認 目をしかめたため息をつく 眼鏡をずらし目をこする 9-2 メモをじっと見てから作業開始 ルールを指差し確認 頭をかき上げため息をついてから報告をする 9-3 眼鏡を上げて目をこするしぐさ ため息をつき目をしかめた袋のルールを指差し確認 口が空いている 9-4 眼鏡をはずし両手でこする やっと動いている様子 大きくため息をついた後報告 その後うつむく ミスなし
	③	-	-	-	-	-	-	-		
	④	-	大	中	大	大	中	中		
	⑤	2	小	小	小	小	小	小		
	大	-	-	-	-	-	-	-		
	小	-	-	-	-	-	2	2		
10	②	-	1	1	-	-	-	-	3'29" 止め忘れ	指示が出たら、すぐにペンを持ち電池の種類と数を付箋に継続的にメモをする 10-1 ふらふらした感じ 音を立てて電池をおく(机にポンと落としている感じ) 集中していない様子 10-2 目をしかめてから作業開始 袋のルールを目をしかめてみる 両肘をついて袋詰め 袋の選択ミス 大→中 10-3 手を顔に当てる 眼鏡をずらし目を抑えるしぐさ 10-4 電池を取り出し机にポンと落とす感じで置く 下を向いたり上を向いたりため息をしたりする 袋の選択ミス 大→中 作業終了時の報告は声が大きく「終わりました！」と言う「ストップウォッチ」の止め忘れに気づき「すみませんでした」と報告
	③	1	1	-	-	-	-	-		
	④	-	大	中	大	大	中	中		
	⑤	-	小	小	小	小	小	小		
	大	-	-	-	-	-	1	1		
	小	-	-	-	-	-	1	1		

行動観察記録票

作業 No	1試行		2試行		3試行		4試行		所要 時間	気になる行動や動作	
	結果	袋	結果	袋	結果	袋	結果	袋			
6	電池	-	-	-	-	-	-	-	1'37" 67	作業の説明の間、落着かない様子 聞くよう促されてもまたいろいろ触る (袋を握る、取り出す、トレイを動かす、ルールの用紙を手に取る、ペンを回す、トレイをつつく、目をこする) 6-1 電池やストップウォッチを触りながら指示を聞く 6-2以降 袋に電池を入れる時、チャックの近くで並べて電池が見えるように揃えて入れている ミスなし 計測時間を表示された通りのミリ秒まで読み上げ	
	②	-	-	-	-	-	-	-			
	③	1	大	1	大	1	大	1			大
	④	-	中	1	中	1	中	1			中
	⑤	-	小	1	小	1	小	1			小
	大	-	-	-	-	-	-	-			-
7	電池	-	-	-	-	-	-	-	1'49" 66	指示の間、電池を揃えるしぐさ 7-1以降 袋に電池を入れる時、チャックの近くで並べて揃えて入れている 7-1 ストップウォッチを握りしめたまま説明を聞く 7-2 電池を触りながら指示を聞く 後ろにのけぞりながら袋に入れる 7-4 袋に入れた時、電池の位置を直すしぐさ 電池の選択ミス(単5→単4) 計測時間を表示された通りのミリ秒まで読み上げ	
	②	-	-	-	-	-	-	-			
	③	-	大	-	大	-	大	-			
	④	1	中	-	中	-	中	-			
	⑤	1	小	-	小	-	小	-			
	大	-	-	-	-	-	-	-			
8	電池	-	-	-	-	-	-	-	1'46" 97	8-1 大げさに袋を取りあげる 空中で電池を入れる 8-2 肩の上下運動、揺らした後電池を取る 終わってから体を揺らす 8-3 袋に入れるとき、首を振り「きついなあ」と袋を見る 袋の選択ミス(中→小) 8-4 指示の後、復唱をする 終わったのけぞる感じになる 計測時間を表示された通りのミリ秒まで読み上げ	
	②	1	大	-	大	-	大	-			
	③	-	中	-	中	-	中	-			
	④	-	小	-	小	-	小	-			
	⑤	-	-	-	-	-	-	-			
	大	1	中	-	中	-	中	-			
9	電池	-	-	-	-	-	-	-	入れ 忘れ	ストップウォッチ入れ忘れ(本人気づいていない) ミス 9-1 電池を触るしぐさ 電池の種類と数を復唱 9-2 電池の種類と数を復唱 ルールをペンでポイント 作業終了後、首を振るしぐさ 9-3 電池の種類と数を復唱 首回し、肩を上下にまわすしぐさ 9-4 電池の種類と数を復唱 作業終了時の報告の時にストップウォッチの入れ忘れに気づき 「あ！ストップウォッチが押せてない」と発言 報告の後、付箋に「ストップウォッチ」となぐり書きをする 計測時間を表示された通りのミリ秒まで読み上げ	
	②	-	-	-	-	-	-	-			
	③	-	大	-	大	-	大	-			
	④	-	中	-	中	-	中	-			
	⑤	2	小	-	小	-	小	-			
	大	2	-	-	-	-	-	-			
10	電池	-	-	-	-	-	-	-	1'46" 76	10-1 ストップウォッチを握り、ストップウォッチと書いた付箋を見えるところに貼りなおす 作業指示を受ける 電池の種類と数を復唱し付箋にメモ 10-2 電池の種類と数を復唱し付箋にメモ 10-3 電池の種類と数を復唱し付箋にメモ ルールをペンでポイント 10-4 電池の種類と数を復唱し付箋にメモ 音を立てて電池を仮置きする 新しい袋を使う ミスなし	
	②	-	-	-	-	-	-	-			
	③	1	大	-	大	-	大	-			
	④	-	中	-	中	-	中	-			
	⑤	-	小	-	小	-	小	-			
	大	-	-	-	-	-	-	-			

# 障害者職業能力開発校における導入訓練を伴う普通課程の普通職業訓練の実施について

昭和58年2月16日指発第4号  
各都道府県職業訓練主管部長  
雇用促進事業団職業訓練部長  
身体障害者雇用促進協会総務部長あて 労働省職業訓練局指導課長通達

改正 平成16年3月17日 能能発0317002号

標記の件については、昭和58年2月16日付け訓発第35号「身体障害者職業訓練校における普通訓練課程の養成訓練の実施について」（以下「通達」という。）をもって通知されたところであるが、当該通達により設定された「身体障害者職業訓練校における導入訓練を伴う普通訓練課程の養成訓練実施要領」（以下「実施要領」という。）の運用に当たっては、通達及び下記事項に御留意の上、遺憾なきよう御配慮願いたい。

## 記

### 1 実施要領を設定した趣旨について

障害者に対する職業訓練は、可能な限り一般の職業能力開発校において行うべきであるが、健常者とともに訓練を受けることが困難な者に対しては、障害者職業能力開発校（以下「障害者校」という。）において行うこととしている。

また、公共職業訓練校において普通課程の普通職業訓練を実施する場合は、汎用性のある基礎的技術・知識を付与するため、職業訓練法施行規則（昭和44年労働省令第24号、以下「規則」という。）第4条に定める訓練基準の弾力的運用は行わないことを原則としている（昭和53年10月1日付け訓発第210号「職業訓練法の一部を改正する法律の施行について」記2. 1. 1. (1). ②. イ参照）が、身障訓練校においては、身体的事情等を配慮する必要がある場合について、当該基準を弾力的に運用してきたところである。

しかしながら、最近の身障訓練校における訓練生の障害の重度化及び多様化の進展を背景として訓練生の個々の障害の特性に応じて訓練職種、教科、訓練期間その他の訓練内容に関し、よりきめ細かな配慮を加えて訓練を実施する必要性が生じてきた。

このため、規則第13条の改正を行い、個々の身体障害者等の特性に即応した効果的な訓練をできるように、実施要領を設定したものであること。

### 2 導入訓練について

- (1) 導入訓練は、訓練生に対して身障訓練校における訓練生活への適応の促進を図るとともに、訓練科又は訓練分野並びに教科、訓練時間、訓練期間及び訓練カリキュラム（以下「訓練内容」という。）を決定することを目的とする訓練であり、入校当初に行うものであること。
- (2) 導入訓練を実施することの適否は、実施要領1に基づき決定するものであるが、この決定に当たっては職業安定機関の行う職業能力評価結果、身障訓練校の行う入校選考結果等を十分勘案して行うこと。

(3) 導入訓練の内容は、上記(1)の目的に従って適切な内容とするため、実施要領1(1)又は(3)と認められる者に対しては、2以上の訓練科に係る内容とし、実施要領1(2)と認められる者に対しては、当該訓練生に対し最適と判断された訓練科に係る内容とすること。この際、次の事項に配慮すること。

イ 当該身障訓練校における施設設備等の実情

ロ 職業安定機関による職業能力評価結果等から判断される障害の特性

(4) 導入訓練の結果、当該訓練生に係る訓練内容を定める場合は、当該訓練を担当した指導員の意見等を参考として、当該訓練生に最も適したものとすること。

なお、導入訓練を担当した指導員の意見等は、当該身障訓練校の訓練主管課長等において集約すること。

(5) 導入訓練は、3月以内で実施されるものであるが、当該訓練の実施により訓練生の訓練内容が決定したときは、その時点で導入訓練を終了し、決定された訓練内容に基づき訓練を実施すること。

### 3 訓練分野の定め方について

訓練分野は、身障訓練校が各々の訓練生に対して行う訓練の対象となる技能を勘案して、次の例を参考に定めること。

(例)

訓練分野	訓練の対象となる技能
和服生地 of 裁断訓練分野	和服生地 of 裁断における技能
旋盤加工仕上げ訓練分野	旋盤を操作して金属の切削加工、仕上げ、組立てにおける技能
本縫いミシン縫製訓練分野	本縫いミシンによる男子服、婦人服、下着等の縫製における技能

ただし、訓練の対象となる技能、訓練カリキュラム等を総合的に判断した結果、主たる技能の範囲が次に掲げる職種（昭和50年3月26日付け労働省告示第24号「雇用対策法施行規則の規定に基づき労働大臣が定める職種を定める告示」参照）に該当する場合は、訓練分野の前に当該職種名を付したものの（例 鑄造訓練分野）を、当該訓練分野の名称とすること。

(職種)

鑄造、板金、製罐、金属プレス、溶接、めっき、電気工事、ブロック建築、配管、左官、建設機械運転、塗装

### 4 修了証書について

(1) 訓練生が訓練分野に係る訓練を受けた場合であっても、訓練修了時において規則別表第3に定められた訓練科ごとに定められている基準による訓練(以下「規則別表3に基づく訓練」という。)と同等と認められる訓練を受講したときは、規則第25条の規定及び昭和50年4月19日付け訓発第100号「職業訓練法施行規則の一部を改正する省令の施行について」記. 第1. 5(3)に掲げる要件に基づき、当該訓練科の名称を記載した修了証書を交付すること。

また、技能検定の受検資格及びその他の資格に関連する場合は、関連する通達等を参照のうえ当該資格に価する技能を修得したと認められる者であるか否かを審査のうえ修了証書を交付す

ること。

なお、「同等と認められる訓練を受講した者」とは、導入訓練に基づき訓練分野に係る訓練を受講した者であって訓練実施中において教科、訓練時間又は訓練期間（記5.（3）による。）の変更（第2次職業訓練受講指示等で決定された訓練分野の主な技能の範囲は変更しないこと。）により、訓練修了時には、規則別表第3に定める訓練基準の要件を満たす訓練を受講したものと身障訓練校長が認めた者をいう（実施要領4.（1）及び5における場合も同じ。）。

- (2) 訓練生が訓練分野に係る訓練を受講した場合の修了証書については、別添1の様式「修了証書」（省略）を参考とされたいこと。

なお、当該訓練生の修得した技能の程度が修了に値すると認められない場合は、当該修了証書に代えて、適宜訓練の履修内容を明記した証明を行うことができること。

#### 5 公共職業安定所との連携について

身障訓練校長は、公共職業安定所長（以下「安定所長」という。）の行う職業訓練受講指示等との間にそごをきたさないようにするため、安定所長と次により緊密な連携を保つこと。

- (1) 訓練受講希望者に対し、規則第4条に定める普通課程の普通職業訓練を行うことの適否及び実施要領に基づく導入訓練を行うことの適否の決定に当たっては、事前に安定所長と十分協議するとともに、導入訓練を行うことが適切と判断した場合は、安定所長へ通知する。
- (2) 身障訓練校長は、導入訓練の実施の結果、個々の訓練生に適した訓練科又は訓練分野等を決定したときは、その旨安定所長に通知する。

なお、安定所長に通知するに当たっては、導入訓練の実施の結果が判明次第速やかに行い、導入訓練実施後の訓練が引き続き行われるように配慮すること。

- (3) 身障訓練校長は、導入訓練実施後の訓練（訓練分野で指示等された者に限る。）の終了時において、訓練生の身体的事情、労働市場の状況、技能修得の状況等を総合的に勘案して、止むを得ず訓練期間の変更が必要であると判断した場合は、速やかに安定所長と協議し、その結果に応じて必要な措置を行うこと。
- (4) 障害者職業能力開発校における導入訓練を伴う普通課程の普通職業訓練実施要領に基づき障害者に対し行われる職業訓練の受講推薦については、職業訓練受講指示要領中の6. 障害者職業能力開発校において行われる導入訓練を伴う職業訓練の受講指示に準じて行うものとする。